

高速増殖原型炉もんじゅの 2 次系ナトリウム漏えい事故について

平成 8 年 2 月 1 3 日
動力炉・核燃料開発事業団

1. 経緯

平成 7 年 1 2 月 8 日、「もんじゅ」の 2 次系（C ループ）において、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動停止した。

1 次主冷却系 C ループと漏えいが発生した 2 次主冷却系 C ループのナトリウムをドレンした後、2 次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業、原因究明のためのロストパーツ探索作業を実施している。

2. 最近の状況

当該配管室等の床・壁等の清掃を継続して実施している。

ロストパーツ探索作業は、第 2 段階として過熱器リングヘッドの放射線撮影を 2 月 7 日から実施し 1 0 日に終了したが、ロストパーツは確認されていない。現在、補助系の放射線撮影の準備を行っている。

当該温度計漏えい周辺部の切断を、2 月 7 日～9 日まで実施し、1 2 日に日本原子力研究所へ向けて搬出した。

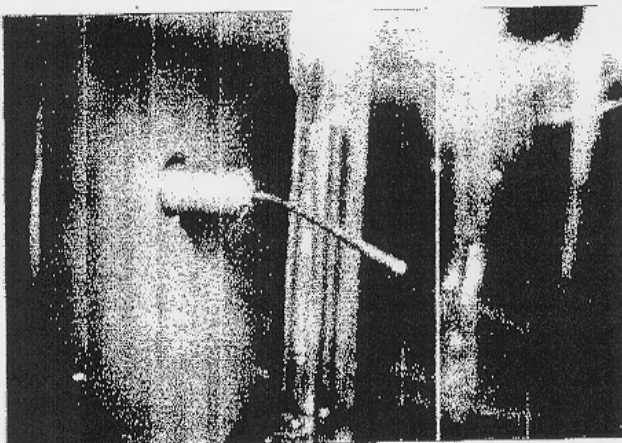
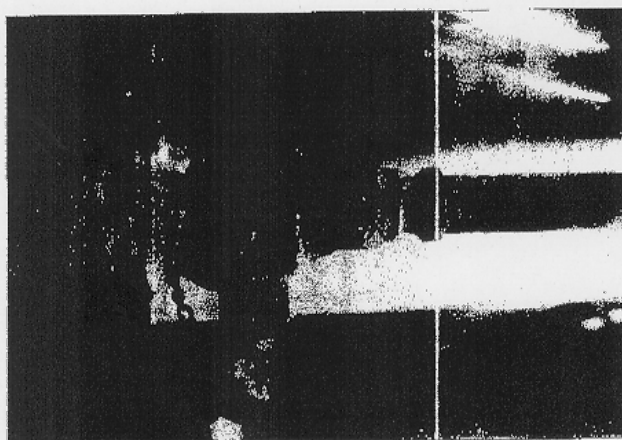
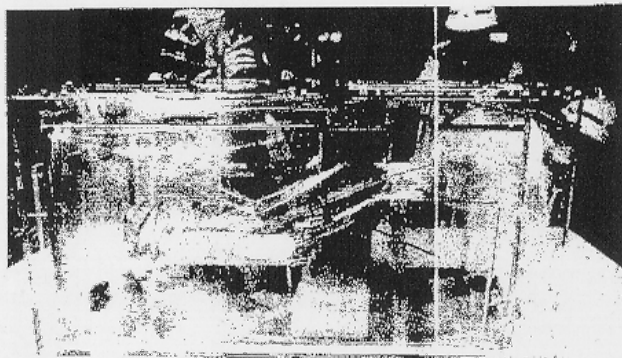
また、2 次系温度計部シール強化作業については、B ループのナトリウムをドレンした後、保温材撤去及び X 線撮影後、2 月 1 0 日から適宜温度計取付け部変更作業を行っている。

3. 今後の予定

当該 2 次系配管漏えい部のより詳細な調査を行う。また、ロストパーツの探索作業及び 2 次系温度計部のシール強化作業を継続して実施する予定である。

なお、2 月 1 5 日に大洗において、ナトリウムによる漏えい速度、漏えい形態の確認実験を、公開で実施する予定である。

以上



切り出した当該温度計部